

高岡市公共施設再編計画について

1 策定の背景

今後、人口減少や少子高齢化が進行し、市税収入の伸び悩み、扶助費等の増大などにより、厳しい財政運営を強いられることが見込まれる中、近い将来、老朽化した公共施設に対する多額の改修・更新費用が必要となることを見込まれている。とりわけ近年は、総合計画に基づく公共施設の整備に伴い施設管理費が増嵩しており、その抑制が課題となっている。

こうした状況を受け、2017 年 3 月に公共施設の総延床面積を 15%削減する数値目標を掲げたところであり、今後この目標達成に向けて、公共施設マネジメントを一層推進していく必要があることから、個々の施設の集約化、複合化、譲渡、廃止、コスト削減など、今後の方向性を示す再編計画を策定したものの。

2 計画概要（概要版→別紙）

計画名	高岡市公共施設再編計画
計画期間	2018 年度から 2035 年度までの 18 年間
対象施設	373 施設（総延床面積 661,714.61 m ² ）

3 当会議における社会教育施設のあり方検討について

高岡市公共施設再編計画において、社会教育施設のうち市立公民館（福岡地区のトレーニングセンター含む）及び二上まなび交流館については、今後「方針決定」を行うこととなっており、「高岡市教育将来構想検討会議」の中で、あり方を検討することとしている。

また、青年の家 3 階にある能舞台についても、青年の家が長期で廃止の判定となったことから、能舞台のあり方についても併せて検討する。

【参考】社会教育関連施設の判定結果（高岡市公共施設再編計画より抜粋）

施設種類	施設	判定結果
集会施設	公民館、トレーニングセンター	短期 方針決定 (H30-H34)
文化施設	青年の家	長期 廃止 (H40-H47)
レクリエーション施設	二上まなび交流館	短期 方針決定 (H30-H34)